

平成21年度 主な県社協事業……………2～5
 介護ぬくもり……………6～9
 介護福祉士・社会福祉士の修学資金……………10
 福祉人材センターニュース……………11
 ほっとすぽっと 入戸野 藤子さん……………12
 ことぶきマスター人材バンク名簿……………14
 広がれ！地域福祉 甲府市社協……………15
 福祉施設訪問「県盲人福祉センター」……………15
 おしらせ……………16

やまなしの 福祉

2009年5月号



「おばあちゃ～ん、またきたよ」

お散歩をする園児たちが、地域のお年寄りを見守ります。
（甲府市 山宮保育園）

撮影 松本成輔（山梨県運営適正化委員会委員長）

発行 社会福祉法人 **山梨県社会福祉協議会**

〒400-0005 甲府市北新1-2-12 TEL 055-254-8610 FAX 055-254-8614
http://www.y-fukushi.or.jp/



この広報紙の作成費用の一部は赤い羽根共同募金
配分金により発行されています。

だれの目にも優しいカラーユニバーサル・デザインで制作した広報です

平成21年度 主な県社協事業

基本方針

昨年の米国発世界同時不況に伴い、わが国においても景気が急速に悪化し、非正規職員の削減などにより、職だけでなく生活の場（住居）までも失う厳しい社会状況となっています。

このような時代だからこそ、県社会福祉協議会では地域の生活課題に的確に対応すべく、組織の機能と経営強化について中期的目標を定めた「県社協強化発展計画」を

もとに、地域福祉の推進をめざします。

具体的には、日常生活自立支援事業などの福祉サービス利用者の権利を擁護する事業や福祉・介護従事者の確保と養成などを本年度の重点実施事業としました。

本年度の県社協予算額（支出額ベース）は、約21億800万円（前年度比約2.8%増）となりました。

主な事業と予算規模は、次のとおりです。

※本年度から新たに取り組む事業は「新」と表記しています。

福祉サービス利用者や家族などへの支援

1. 日常生活自立支援事業 (47,237千円)

認知症高齢者、知的・精神などに障害のある方々の自立を支援するため、福祉サービスを利用する際の手続きや料金払いなどの援助、日常の金銭管理といったお手伝い（福祉サービス利用援助事業）をします。

また住民の保健・福祉についての相談・支援を行う地域包括支援センターと連携して、相談窓口や相談体制の充実・強化を図ります。

2. 福祉サービス苦情解決事業 (6,173千円)

公平・中立な立場で利用者の利益保護を目的としている運営適正化委員会は、県社協が実施主体である日常生活自立支援事業の運営を監視します。

また福祉サービス利用者や家族からの苦情（疑問、要望）に対し、相談、助言などを行い、適切に解決することに努めます。

3. 福祉サービス評価推進機構運営事業 (3,200千円)

福祉サービス評価推進機構は、福祉サービスの質の向上を図るため「福祉サービス事業所の評価を行い、利用者がサービスを選択する際の情報を公表する第三者評価事業」の受審・普及を図ります。

4. 介護サービス情報の公表事業（関連事業を含む） (31,824千円)

利用者が適切にサービスを選択できるように、介護保険法に基づき、介護サービス情報の内容や運営状況についての公表を行います。

5. 地域密着型サービス外部評価事業 (3,360千円)

小規模多機能型居宅介護や認知症対応型共同生活介護（グループホーム）の事業所が、自ら行う「自己評価」と評価機関が実施する「外部評価」によって客観性を高めることで、福祉サービスの質の向上を図ります。

「和」「学」、3つの信条

今、わが国は100年に一度の大恐慌に見舞われ、また混迷の政治情勢に加え、歴史的な変革の中で新たなる課題が噴出し、県社協の果たすべき課題も山積みしています。

県行政改革大綱においては、本会も改革すべき対象として明記され、まさに歴史的転換期にあるといっても過言ではありません。

しかし「ピンチはチャンス」といいます。福祉が大いなる転換期にあるからこそ、県社協は地域福祉推進の中核として、また「山梨発の福祉文化の創造」への躍進のチャンスと考え、組織の総力を結集して力強く前進するものです。

人が生きるための安心と安全の確保、これこそが文化の原点であり、福祉はその根幹です。本県は武田節の「人は石垣、人は城」とあるように、福祉の原点である人と人とが支

県社会福祉協議会長 古屋 栄和

え合う美しい風土を形成してきました。

県社協はこの原点と風土を常に忘れず、誇りと自信をもって業務に精励しなければなりません。

職員1人ひとりが「和」と「学」の姿勢を忘れず、3つの信条をもって取り組んでいきたいと思えます。



3つの信条

「一木一草の心を知れ」…もの言えぬ弱い立場の人の声を聴け。

「鷲は日輪を望んで高く翔ける」…常に正義を見つめ、誇り高く生きよ。

「水は奔湍（ほんたん）となって本領を發揮する」…組織一丸となって目標にまい進せよ。



6. 高齢者虐待防止支援事業

(1,847千円)

高齢者虐待にかかる困難事例について、市町村、地域包括支援センターを対象とした社会福祉士や弁護士などによる相談・派遣支援を行います。

新7. 認知症コールセンター設置事業

(1,890千円)

認知症にかかわる専門家や介護経験者が、電話で相談に応じる窓口を設置します。認知症の知識や介護技術、適切な支援機関の紹介、精神面でのサポートを行います。

地域で生活する方々への支援

1. 高齢者総合相談センター事業

(14,438千円)

高齢者の生活、健康、生きがい、職業、介護・看護、法律、身体拘束廃止といった相談に応じ、個人の尊厳と権利を擁護します。

2. 生活福祉資金等貸付事業

(1,055,606千円)

低所得世帯や障害のある方、高齢者などへの福祉資金貸付制度として「生活福祉資金」「離職者支援資金」「長期生活支援資金」「要保護世帯向け長期生活支援資金」の有効な活用を図ります。長期にわたる滞納世帯に対し、市町村社協とともに必要な対応を行います。

3. 高齢者居室等整備資金及び重度障害者居室等整備資金貸付事業

(12,236千円)

高齢者（60歳以上）や障害のある方の住まいに対する貸付を行います。長期にわたる滞納世帯に対し、市町村社協とともに必要な対応を行います。

福祉経営と人材確保への支援

1. **福祉施設経営指導事業** (5,769千円)
巡回相談や研修に重点をおいた経営指導を行い、社会福祉施設の健全な経営を支援します。
2. **民間社会福祉施設振興資金貸付事業** (40,969千円)
民間社会福祉施設の健全な経営を目的とし、施設整備と運営に必要な資金の貸し付けを行います。
3. **福祉人材確保事業（無料職業紹介事業と人材養成）** (7,289千円)
福祉人材確保指針に基づき、有資格者や多様な人材の就労促進、定着支援などに取り組みます。人材確保にかかる課題やニーズを把握するため、昨年度に引き続き労働市場動向基礎調査を行い、また福祉人材センターが中長期的に取り組むアクションプランを策定します。
4. **福利厚生事業** (507,014千円)
退職共済制度や福利厚生センター地方事務局による福祉従事者の福利厚生事業を行います。
- 新5. **職場体験事業（福祉人材センター）** (6,060千円)
福祉・介護職場を体験する機会を提供します。
福祉・介護の仕事に関心のある方々に対し、実際の職場の雰囲気、サービス内容などを直接知る環境をつくることで、福祉・介護従事者の確保につなげます。

福祉従事者・担い手への支援＝生涯研修とその体系化

1. **民生委員・児童委員研修** (891千円)
地域における身近な相談者としての役割を支援するため、中堅の民生委員や主任児童委員などの研修を行います。
2. **従事者研修事業（福祉人材センター）** (670千円)
社会福祉事業従事者として必要な知識や技術の習得・向上を図るため、職種や階層に応じた研修を開催します。
3. **介護職員指導者研修・介護職員テーマ別研修（介護実習普及センター）** (832千円)
指導的立場にある介護職員を対象に実務に沿ったテーマに基づく研修を行い、福祉サービスの向上をめざします。
4. **介護支援専門員研修** (11,094千円)
実務研修受講試験の合格者や有効期限が満了となる実務経験のない有資格者を対象とした研修のほか、就業期間に応じた更新研修などを行います。
- 新5. **介護福祉士等修学資金貸付事業** (24,200千円)
介護福祉士や社会福祉士の養成施設などに在学し、資格取得をめざす学生に対する修学資金の貸し付けを行います。
本県で貸し付けを受け、卒業後1年以内に介護または相談援助の業務に従事すること、そして従事する期間が5年間になると返還が免除されます。

県民への啓発事業

1. ボランティア活動 (1,822千円)

市町村ボランティアセンター機能の充実、ボランティアや地域住民が主体となり、市町村・小地域の福祉活動を推進するための「人づくり・山梨ボランティアフォーラム」を開催します。

2. 福祉教育の推進 (3,711千円)

関係者と連携し、学校や地域で活用できる「福祉のこころを醸成するプログラム」を推進するため、市町村社協をモデル指定します。また小・中・高校、特別支援学校に対する「やまなし福祉教育・ボランティア活動実践校フォローアップ事業」を行います。

3. 介護講座 (2,636千円)

「介護は社会全体で支えるもの」という理念のもと、県民の方々を対象にさまざまな介護講座を開催します。

学校関係者向けの講座や介護ボランティアの養成、家族介護者への支援を行います。

4. 健康づくり・生きがいづくり (30,937千円)

「いきいき山梨ねりんピック2009」をはじめとする高齢者の健康づくり、「シルバー作品展」といった高齢者の生きがいづくりなどを行い、明るい長寿社会をめざします。

地域福祉の推進

1. 市町村社協への支援

組織・財政・事業などの課題に対し、各市町村の自主性や個別性のある取り組みを広域的な観点でとらえ、専門性の向上を目的とする研修の開催や巡回による個別支援をします。

2. 災害にも強いまちづくり (608千円)

災害時の円滑な救援活動やボランティア活動を行うため、県市町村職員、市町村社協職員、モデル地区住民などを対象に「市町村社協災害ボランティアセンター」の設置運営実働訓練をモデル的に行います。

また平成8年度に作成した「山梨県民間社会福祉災害マニュアル」の見直しとともに、訓練を行います。

広報・情報提供

1. 本会ホームページの充実 (585千円)

県民の方々をはじめ、本会会員に対する福祉情報の提供を充実します。

市町村社協が災害時にも対応できる情報ページを提供するなどのネットワーク化に取り組みます。

2. 本会広報紙「やまなしの福祉」発行 (4,709千円)

本県福祉の総合情報紙として内容を充実し、福祉関係機関・団体はもちろん、県民の方々への情報提供に努めます。

介護講座紹介

県立介護実習普及センターは、介護講座の受講者を募集中。講座の内容を紹介します。



「入門介護講座」特殊なメガネをかけて文字を読む



「入門介護講座」研修の一環として企業の社員も受講



「自立を促すリハビリテーション」ベッドから起こしリハビリをはじめる



「病気・事故の予防に対応」AEDの操作を学ぶ

入門編やテーマ別

1カ月前から受け付け

入門介護講座

疑似体験により高齢者の心身の変化を知ること、介護の心学びます。

テーマ別介護講座

さまざまなテーマに沿っ

て介護の知識や技術を具体的に学びます。

◇**口の中の健康管理**：飲み込みの障害がある方へのケアをはじめ、講義と実技を交えた口腔ケアを学びます。

◇**自立を促すリハビリテ**

ーション：リハビリテーションの基本的な知識を学びます。またベッドからの起こし方や車いすへの移し方などを体験します。

◇**お年寄りに起こりやすい病気・事故の予防と対応**：加齢に伴う病気への抵抗力や筋力の低下は、病気や事故につながります。AED（電気ショックを与え、心臓の動きを戻すための医療機器）の操作も体験しながら、病気や事故の予防と

対応を学びます。

◇**お年寄りの食事のお世話**：3日間コース。栄養を補う副食や飲み込みの障害に合わせた食事作りを見直す機会になります。3日間の材料費として1500円の自己負担があります。

◇**清潔のお世話**：2日間コース。身体の清潔についての基本知識や注意点を学びます。寝たままの部分

浴（手や足）や、洗髪（シャンプー）は、自宅にあるものを使う工夫などを体験します。

◇寝具・衣類のお世話と床ずれ予防：快適な生活を送るための寝具・衣類選びを学びます。介護が必要な人が寝た状態でのシーツ交換やその際の注意点も知ることができます。

◇介護者の健康管理：在宅介護を続けるために、介護者の心と身体のリフレックスが重要です。講座では簡単なヨガもします。

◇お年寄りの排泄の問題とそのお世話：排泄（せつ）の仕組みとその障害について知り、予防やケアの方法を学びます。より良いおむつの当て方や、肌の手入れ方法を体験します。

◇介護を支える保健医療福祉サービス：介護保険を中心に、制度や福祉サービスについて学びます。医療関係者による在宅介護での注意点を聞くことができます。

爪の変形が起こり、立つことや歩くことに支障がでることがあります。足のマッサージ方法や、正しい足の爪の手入れ方法を学びます。

介護ボランティア養成研修

どのテーマでボランティア活動について学びます。

認知症サポーター養成講座

認知症は誰でもなる可能性のある病気です。認知症サポーターとは、なにか特別なことではなく、自分のできる範囲で認知症の人やその家族を支援します。認知症を理解することもサポーター活動の大切な役割です。

◇お年寄りの排泄の問題とそのお世話：排泄（せつ）の仕組みとその障害について知り、予防やケアの方法を学びます。より良いおむつの当て方や、肌の手入れ方法を体験します。

◇介護を支える保健医療福祉サービス：介護保険を中心に、制度や福祉サービスについて学びます。医療関係者による在宅介護での注意点を聞くことができます。

2日間コース。地域や福祉の職場で働く人が講師となり「高齢者疑似体験」「ボランティアに役立つ介護技術」「施設で求められるボランティアの力」「お年寄りの生活を支援するボランティア活動について考える」など

このほか夏休みは、小中学生や高校生を対象とした介護講座も開催します。各講座とも定員を設けており、開催日の1カ月前から受講申し込みを受け付けています。



「食事のお世話」調理実習の様子



「清潔のお世話」紙おむつの素材（吸水性など）を利用した洗髪



「排泄の問題とそのお世話」差し込み便器の使い方を学ぶ

県立介護実習普及センター
電話055・254・8680

介護ベッド、マットレスの選び方

介護用ベッドは①起き上がりや立ち上がりが楽になる②腰を掛ける姿勢が楽にとれ、車いすなどへの移乗動作がしやすくなる③立ち上がりに便利な手すりなどの付属品の取り付けが可能、などの利点があります。

一方、①置くスペース②転落の危険性③ベッドに慣れていない方の不安感などを解消する必要があります。

介護用ベッドの機能には「背上げ」「ひざ上げ」「高さ調節」があり、利用する方の状態に応じて、必要な機能を備えたものを選びます。

そしてベッドとともに大切なのが、マットレス選び。立ち上がりや起き上がりが可能な方は、安定感のある硬めのマットレスを選ぶことが望ましく、日中ベッドで過ごすことが多い方は、心地よい柔らかめのマットレスを選ぶと良いでしょう。

介護用ベッド、マットレスは、介護保険によるレンタルの対象になっていきます。状態に合わなくなった時は、必要な機能を備えたものに変更することができます。

背中を上げて起きやすく

商品名 楽匠～自立促進シリーズ 起きあがりベッド

特徴 背上げ機能付き。背中部分が上がるため、起き上がり動作を補助します。手すりにつかまれば、自らの力で起き上がることができる方に適しています。

生産終了の商品ですが、レンタルが可能です。



背上げ、ひざ上げ、高さ調節も

商品名 ケプロコア852R DXシングルショート
価格 298,000円 (非課税)

特徴 背上げ、ひざ上げ、高さ調節機能付き。手すりが背中部分と一緒に動くので、背上げ時に姿勢が安定し、手や頭を挟み込む危険がありません。ベッドの端に両足を垂らして腰をかけられる方にオススメ。身長にあわせてレギュラー、ロングサイズもあります。



硬軟の面を使い分け

商品名 エバーフィットマットレス洗浄タイプ
価格 75,600円 (税込み)

特徴 硬い面と柔らかい面のリバーシブル。状態が変化した時に使い分けることができます。水が抜けやすくなっているため、マットレスを丸洗いができます。



柔らかい面

硬い面

県立介護実習普及センターで展示しているベッド・マットレスを紹介します。
取扱店など詳しくは、本センターにお問い合わせください。電話055・254・8680、FAX055・254・8690

100
100円ショップの
便利品

手軽な値段と品数をそろえた100円ショップ。ここで見つけた「生活」を便利にする用品を紹介します。

商品名 シリコン製フタ開

け
「シリコン製フタ開け」をキャップやふたに付けて

回します。摩擦の力を利用することで手の力が弱くなった方でもふたが開けやすくなります。

商品はペットボトルの小さなキャップからコーヒーの瓶のような大きなふたまで対応します。



商品名 ソフトスプーン

ゴムのような弾力のある、エラストマー樹脂になっていきます。食べ物を口に運んだ時の感触が優しく、違和感が少なくなります。スプーンの先の丸みが少ない形のため、すくいやすくなっています。



商品名 くすり整理ケース

1週間分の薬を1日4回（朝、昼、夕、寝る前）に分けて整理できる錠剤用ケースです。あらかじめ整理しておくことで、薬の飲み忘れを防ぎます。数日間用のコンパクトサイズもあります。



図書紹介



著者 浜田きよ子
出版社 講談社

合わせてください。

介護保険制度の仕組みや利用できるサービスなど、

介護についての基礎がていねいに、わかりやすく掲載

されています。

これから介護を始める方には、安心の1冊です。

この他、介護・看護・福祉についての本261冊、ビデオ201本の貸し出しをしています。詳しくは、県立介護実習普及センターにお問い合わせください。

介護講座の申し込み、福祉用具の相談、図書・ビデオの貸し出しなどは、山梨県立介護実習普及センターにご連絡ください。電話055・254・8680 FAX055・254・8690

介護
ぬくもり

おしらせ

あなたの街のやさしい手をよろしくお願いします。介護のことなら何でもご相談下さい。



在宅介護
やさしい手



- 居宅介護支援・ケアプラン作成
- 訪問介護
- 通所介護
- 訪問入浴
- 福祉用具貸与・販売
- 障害福祉サービス
- 小規模多機能型居宅介護

甲府本部 甲府市上石田1-7-14 ☎055-236-6210

各種御会合承ります

ベルクラシック
甲府市丸の内1-1-17

TEL 055-253-4345

介護福祉士・社会福祉士取得のための 学費を貸し付けます

県社会福祉協議会は、介護福祉士・社会福祉士の養成施設などに在学する方への修学資金の貸付を行います

対 象 者	介護福祉士・社会福祉士の養成施設などに在学し、卒業後に山梨県内で介護や相談業務に従事しようとする学生（原則として、山梨県内に住民登録していること） ただし、同種の修学資金の貸付を受けている、または受ける予定の学生を除きます
貸付限度額	月額5万円以内 入学準備金20万円以内（初回月） 就職準備金20万円以内（最終月）
貸付利子	無利子
貸付期間	契約に定められた月から養成施設などを卒業の月まで
連帯保証人	2人。独立した生計を営み、1人は県内に居住していること また貸付希望者が未成年の場合、1人は親権者か後見人であること
返還免除	卒業後1年以内に県内で介護や相談業務に従事し、以後5年間業務につく場合など
そ の 他	①養成施設などの推薦が必要です。貸付を希望する場合、養成施設などにご相談のうえ、申請手続きを行ってください ②申請書と必要書類（所定様式）は、県社協ほか、次の養成施設などで配付しています ・山梨県立大学 ・身延山大学 ・帝京医療福祉専門学校 ・優和福祉専門学校
締め切り	（養成施設などから県社協への提出期限） 5月29日(金) 必着
問い合わせ先	県社会福祉協議会企画課（電話055・254・8610）

平成20年度 求人求職状況一覧

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延人数
有効求職者数	300	220	255	278	332	381	379	383	410	473	542	286	4,239
新規	91	77	57	43	67	65	39	29	45	83	96	95	787
継続	209	143	198	235	265	316	340	354	365	390	446	191	3,452
有効求人数	281	288	467	675	721	680	616	584	659	591	592	442	6,596
新規	85	77	332	303	120	304	254	96	346	198	123	191	2,429
継続	196	211	135	372	601	376	362	488	313	393	469	251	4,167
有効求人倍率	0.94	1.31	1.83	2.43	2.17	1.78	1.63	1.52	1.61	1.25	1.09	1.55	1.56
紹介・応募人数	33	33	28	57	29	31	39	33	33	45	62	76	499
紹介(窓口)	18	24	17	14	14	24	19	17	13	21	35	40	256
応募(インターネット)	15	9	11	43	15	7	20	16	20	24	27	36	243
紹介採用人数	8	13	6	7	6	18	12	5	12	8	10	21	126
窓口	5	12	6	7	6	17	11	4	9	5	8	17	107
インターネット	3	1	0	0	0	1	1	1	3	3	2	4	19
テレホンサービス 利用者数	20	25	22	28	31	24	33	19	23	22	38	35	320
窓口相談人数(求人・求職)	130	153	99	83	136	87	102	50	49	171	249	152	1,461
モバイルアクセス件数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4

福祉人材センターニュース

求職、求人とも大幅に増加

20年度 採用成立へは課題も

県福祉人材センターにおける平成20年度の有効求職者数は、前年度比112.9%増の延べ4239人で、

一方、1年間の有効求人増の延べ6596人で、前

年度3434人を大きく上回りました。このうち正職員の割合は延べ3426人、全体の5割強となっています。3月末現在の有効求人倍率は1.56倍と前年度比0.46ポイント増となりました。

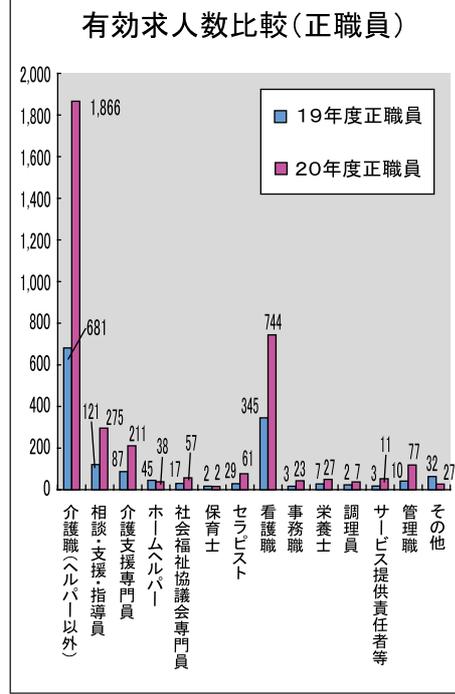
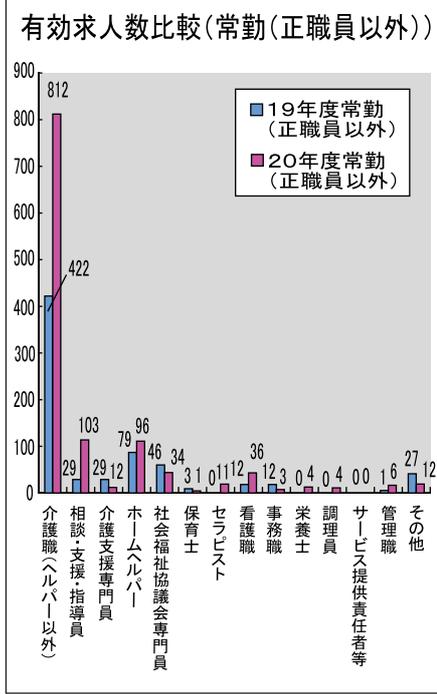
また窓口での紹介やインターネットを利用して試験

りまし。また窓口での紹介やインターネットを利用して試験

りまし。また窓口での紹介やインターネットを利用して試験

りまし。また窓口での紹介やインターネットを利用して試験

りまし。また窓口での紹介やインターネットを利用して試験



こととしてい。採用につなげていく

その中で、子育てをしながら働きたいという求職者が「勤務時間をもう少し短縮してほしい」と相談したところ、求人(事業所)が求職者の希望を尊重し、採用となった例もありました。

面接を受けた求職者(紹介・応募人数)は、延べ499人で、このうち約3割の延べ126人が採用になりました。

モバイル(携帯電話)版「福祉のお仕事」スタート

3月末から携帯電話を使って求人の閲覧ができるようになりました。紹介状の発行や詳しい求人内容などの相談は、県福祉人材センターへお問い合わせください(電話055・254・8654)。

■ モバイル(携帯電話)版

福祉のお仕事 mobile

<http://www1.fukushi-work.jp/cool/m/>



入野藤子さん（北杜市明野町浅尾、71歳）は、県の「ことぶきマスター」。レクリエーション指導者として地域の公民館や知的障害者施設などを訪問し、笑顔と健康の輪を広げています。明野に夫の邦義さん（74歳）と住んで11年目。すっかり地域に溶け込んで活動しています。

若いときから東京・武蔵野市で社会体育の非常勤講師や体育指導員として活躍。20年以上のかかわりから得た持論は「レクリエーションは、人と人をつなぐもの、心のリラックスを得るものです」と言います。

昭和36年、明野出身で中学校教師をしていた邦義さんと結婚。武蔵野市で長く暮らし、平成10年5月、60歳のとき、夫の実家である浅尾に移り住みました。横浜生まれ、東京育ちの藤子さん。「夜の暗さにびっくり。車がないと不便だし、大変な所

ことぶきマスター 入野 藤子さん

「レクリエーションで体と心の健康維持を」と話す入野藤子さん。左は指導の様子



「どうしたら地域に溶け込めるだろうか」。悩み、ストレスがたまる日々。夜、布団の枕を濡らすこともありましたが、そんな藤子さんを救ったのが、武蔵野時代に身につけた社会体育のライセンスと経験でした。ある日、教育委員会が生涯学習の指導者登録を呼び掛けるチラシを目にしました。

日本レクリエーション協会のコーディネーター、日本フォークダンス連盟の公認指導者、日本体育協会の体力テスト判定員などの資格を持ち、武蔵野市で培った生涯スポーツの拠点づく

人と人をつなぐレク／指導経験が身助ける

りや組織化の経験が、大きな自信としてよみがえってきたのです。

さっそく登録。最初の講師は明野ふれあい館でのお年寄りを対象にしたレクリエーション指導でした。行って驚いたのは置の部屋だったこと。東京での会場は床といすばかりでした。先輩指導員と一緒に、用意して行った内容は床といすを想定したもの。しかし、そこは経験豊富な藤子さん。畳に座ったまままでできる握手とじゃんけんを組み合わせた内容に変え、結果は大受けでした。

以来、公民館などで講師として活発な活動を続けています。平成15年には県ことぶきマスターの認定を受け、17年からは県社会福祉協議会の依頼で県内各地に出掛けていきます。邦義さんも車の送迎などで藤子さんを支えます。

「高齢者、60歳代、中年、若い人、知的障害者など、いろんなプログラムを用意して、体と心の健康を維持するよう地域の人の役に立ちたいですね」。藤子さんは明るく話しています。

財団法人 山梨日日新聞厚生文化事業団

サポートします
やまなしの福祉

〒400-8505 甲府市北口2-6-10 ☎055-231-3106

福祉関連各種大会・研修会・職場旅行
ツアー等お気軽にご相談ください。

こだわりの旅 ゆとりの旅



(株) YBS T&L 旅行事業本部

〒400-8545 山梨県甲府市北口2-6-10
TEL055-231-3366 FAX055-231-3377

県社会福祉協議会は「ことぶきマスター人材バンク」に登録している指導者を無料で派遣（あっせん）しています。

ことぶきマスターとは、長年培われた知識や技能、



生活の知恵などを生かしながら、積極的に地域で活動

する高齢者の方々です。

今年3月、「ことぶきマスター人材バンク名簿」を作成、県内の社会福祉施設をはじめ、市町村関係機関、幼稚園などに配布しました。

人材バンク名簿を作成

ことぶきマスター

人材バンク名簿の内容

人材バンク名簿は①趣味・生活文化②スポーツ・レクリエーション③健康④歴史⑤文芸⑥美術・工芸⑦音楽・演劇・舞踊⑧福祉・奉仕⑨その他の9分野で構成。

さらに必要な人材を探しやすいよう、手芸・絵手紙・手品・腹話術など81項目ごとに紹介しています。



手品



絵手紙



健康と運動

登録・掲載数は185人、11団体です。

人材バンク名簿の活用方法（指導者の派遣依頼）

①計画に応じて、人材バンク名簿から、項目・指導者を選び、県社協に連絡します

②指導者の派遣希望者（依頼者）は、所定の申請書を県社協に提出します

③県社協は、依頼者と指導者の仲介を行い、派遣する指導者を決定します

④県社協は、決定した指導者の連絡先などを依頼者

に連絡します

⑤依頼者は指導者に連絡を取り、計画の打ち合わせを行います

⑥事業終了後、依頼者は、所定の実施報告書と写真2〜3枚を添付して県社協に提出します

◇ 県社協は指導者の派遣に

かかる費用などのご相談にも応じます。

人材バンク名簿をご希望の方、またはバンク登録を希望する場合などもお気軽にご相談ください。

県社協長寿やまなし振興センター健康生きがいづくり担当 電話055・251・3900

(第5号様式)
平成 年 月 日

山梨県社会福祉協議会長 殿

依頼者・団体名: _____
担当者名: _____
連絡先: _____

ことぶきマスター人材バンク事業申請書

事業名	
開催日時	平成 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分
開催会場 (所在地)	
参加者 (対象者)	
参加人数 (予定)	
事業内容 (日程等)	
希望活動者名 (活動項目)	① 第1希望: (活動項目: _____) ② 第2希望: (活動項目: _____)
活動者決定欄 (※日程調整後に記入)	決定活動者名: ① (活動項目: _____) ② (活動項目: _____)
希望活動時間	① _____時 分 ~ _____時 分まで (分間) ② _____時 分 ~ _____時 分まで (分間)
備考	

34

(第6号様式)
平成 年 月 日

山梨県社会福祉協議会長 殿

依頼者・団体名: _____
担当者名: _____
連絡先: _____

ことぶきマスター人材バンク事業実施報告書

事業名	
開催日時	平成 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分
実施場所	
実施結果概要 (実施内容 (参加者数) (指導者名) (指導内容) (その他))	
備考	

※ 事業終了後、次のものを添付して、報告してください。
・ 事業実施内容のわかる資料 (チラシ、プログラム、新聞記事、写真2~3枚 等)

35

安心を支えます

ボランティア活動保険

ボランティア活動中のケガや賠償事故を補償

活動場所と自宅
との往復途上の
事故も補償

ケガのための
入院を
事故の日から
1,000日まで補償

ボランティア自身の
食中毒・熱中症・
特定感染症もOK

天災タイプでは
地震・噴火・津波による
ケガもOK



保険料
(掛金)

Aプラン	260円
Bプラン	420円
Cプラン	590円

天災危険補償タイプもあります。

ボランティア行事用保険

地域福祉活動の一環として行うボランティアに関する行事におけるケガや賠償事故を補償!

- 行事参加者(主催者を含む)全員のケガを補償(往復途上も含む)
- 行事主催者の賠償事故も補償

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャー等の活動中のケガや賠償事故を補償!

- 在宅福祉サービス (公的介護保険対象外サービスを含む)
- 地域福祉サービス
- 障害福祉サービス
- 児童福祉サービス
- 障害者地域生活支援事業 など



送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故によるケガを補償!

- 送迎・移送サービス利用者を特定したプラン
- 送迎・移送サービスのための自動車を特定したプラン

お申込み、ご照会は、あなたの地域の社会福祉協議会へ

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

http://www.fukushihoken.co.jp

〈引受幹事保険会社〉日本興亜損害保険 株式会社



甲府市社会福祉協議会

住民のふれあい・支え合いへ 小地域のネットワーク活動

甲府市社会福祉協議会は、平成7年度から「小地域ネットワーク活動」を推進しています。

小地域での住民のふれあい・支え合い活動の推進母体となるのは、おおむね単位自治会を区域とした地区社会福祉協議会。現在、31カ所の地区社協がこの活動を行っています。

活動の目的は、支援を必要とする住民（要援護者）が住む近隣の方々にも協力を得ながら、ネットワーク（支え合いの連携の輪）を作り、福祉問題の早期発見や解決に向けて地域で取り組むことです。

自治会単位の「ネットワーク連絡会」をはじめとする支援組織の設置・強化、要援助者の把握、災害時などのふれあい台帳登録申請・ふれあいカードの作成・整備、要援助者と援助者との確認明記した「福祉マップ」

の作成などが行われています。

活動の中心となるのは、同市社協会長などが委嘱する551人の「地域福祉活動推進員」。民生委員児童委員や自治会長などと連携し、要援護者への見守りや話し相手、ごみ出しなどもします。

昨年度から市行政と協働し、順次、モデル地区社協の指定をはじめました。「ネットワーク活動内容は、各地区の特性によりさまざまですが、着実に成果を上げています」と同市社協の窪田敏一さんは、この事業に期待を膨らませています。



地域福祉活動推進員委嘱式の様子

福祉施設訪問

山梨県盲人福祉センター（点字図書館）

奉仕に支えられ視覚障害者の灯台めざす

「山梨県盲人福祉センター（点字図書館）」は、視覚障害の人たちと読書の喜びを分かち合うための拠点として開設されました。

現在、約3万冊の点字図書や約5万冊の録音図書などを所有。点訳や録音リーダーング（読み）などは、ボランティア「青い鳥奉仕団」を中心に行っています。

1人ひとりの要望に応えるため、必要な本や資料の点訳、リーダーングなどを行う「プライベートサービス」



専用機械で点字印刷

点字図書などがならぶ



もありません。

「読みたい本がいち早く提供できるよう、青い鳥奉仕団の方々とともに努力していきたい」と所長の小林久寿さん。

無料で行う図書の貸し出しサービス。閲覧だけでなく、電話やFAX、Eメールなどから申し込むことができる館外貸し出し（郵送）も好評です。

同センターを運営する「山梨ライトハウス」は、「視覚障害者の灯台（輝き）になる」という意味を込め、発足から55年の今も、その実現を目指しています。

施設概要

施設名 社会福祉法人山梨ライトハウス
山梨県盲人福祉センター（点字図書館）
住所 〒400-0064 甲府市下飯田2-10-1
電話 055・222・3502 F A X 055・233・0124
施設立 昭和29年10月
敷地面積 793.00㎡ 延床面積 815.68㎡

建物構造 鉄筋コンクリート造 2階建
開館時間 午前9時～午後5時
休館日 日曜（第4日曜日は開館）、祭日、年末年始
関連施設 青い鳥ホーム（盲人ホーム）、青い鳥支援センター、青い鳥成人寮（知的障害者更生施設）、青い鳥老人ホーム（養護老人ホーム）

おしらせ

シルバー作品展・俳句大会

県社会福祉協議会は「いきいき山梨ねんりんピック2009シルバー作品展・シルバー俳句大会」を開催します。

入場は無料。お気軽にお越しください。

【作品展・俳句大会】

今年で18回目を迎える作品展・俳句大会。豊かな知識や技能、経験を持った高齢者の文化活動をとおした、ふれあいや生きがいを目的として始まりました。

●日時

5月15日(金) 13:30~19:30

16日(土) ~19日(火) 10:00~19:30

20日(水) 10:00~12:00

※開催時間にご注意ください。

●会場 山交百貨店5階催事場
(甲府市丸の内1-3-3)

●問い合わせ先 県社協長寿やまなし振興センター(電話055・251・3900)

申請受け付け中

「虹の架け橋推進事業」

県共同基金会は、自分たちの住む街をよりよいものにしようと活動している福祉施設・団体、ボランティア団体、学校、NPOなどを対象に、共同基金の配分をします。

対象事業は平成22年度に実施する子育てをはじめ、子どもの健全育成や自然・環境保護、経済的な自立支援が必要な人たちに応援する活動、また市民参加型の権利を擁護する活動など。配分の額は5万円以上20万円以内です。

●要望書提出締め切り 5月25日(月)

●要望書提出先 県共同基金会
または各市町村社会福祉協議会内にある支会・分会

●審査方法 プレゼンテーション方式(日時は後日連絡)

●問い合わせ先 県共同基金会
(電話055・254・8685 FAX 055・254・8684) またはお住まいの支会・分会

「おひとりさまの老後」の上野さん講演会

山梨県医療社会事業協会は発足40周年を記念し、講演会「おひとりさまの老後を支える医療・看護・介護の連携」を開催します。

講師は「おひとりさまの老後」でおなじみの東京大学大学院教授 上野千鶴子さんです。

●日時 6月6日(土) 14:30~16:30

●会場 ホテルクラウンパレス 甲府2階(甲府市朝気1-2-1)

●受講料 1,000円

●申し込み方法 所属機関または住所、連絡先(電話、FAX)、氏名、職種を明記し、下記にFAXでお申し込みください。

●申し込み・問い合わせ先 県立中央病院医療福祉相談科
(電話055・253・7111 FAX 055・253・8702)

渡辺智広 & Marina's Early Summer Live 2nd開催

ドラマー智広さんと親子デュオ・マリナーズが、コンサートを開催します。入場は無料です。

♪渡辺智広 & Marina's♪

平成18年1月、ユニット結成。レパートリーは、童謡やアニメソング、ポップス。

ドラムをたたく智広さんはダウン症です。知的障害のある麻里奈さんはお母さんとデュオを。麻里奈さんがボーカル担当、お母さんはピアノを伴奏します。

●日時 6月7日(日) 13:30

●会場 甲府市南部市民センター1階大ホール(甲府市下今井町15)

●問い合わせ先 白井さん(電話090・6504・5550)

「親なき後の課題」フォーラム

笛吹市社会福祉協議会は「平成21年度笛吹市精神保健福祉セミナー 障害者にとっての『親なき後の課題』フォーラム」を開催します。

大変デリケートな課題ですが、当事者と支援者側の目線・役割でどのように対応していくかを真剣に考えます。

●日時 6月27日(土) 10:00~16:00

●会場 春日居あぐり情報ステーション(笛吹市春日居町寺本155-1)

●内容 東洋大学教授 秋元美世さんによる基調講演会「地域における後見のあり方」、県司法書士会・リーガルサポート山梨の成年後見劇、パネルディスカッション「親なき後の課題への対処は親ある時から」(コメンテーターは成年後見センター・リーガルサポートの大貫正男さん)

●受講料 無料

●申し込み・問い合わせ先 笛吹市社協障害者地域活動支援センター「ふえふき」(電話055・263・1777 FAX055・263・1769)